

西暦	年号	歴代会長	主な出来事
1967	昭和42年	大田英夫	◎小松市テニス協会創立 ◎第1回小松市庭球選手権大会開催 優勝は宮西・山崎組(小松製作所) ・沢松和子が16歳で全日本女子に最年少優勝
1968	昭和43年	大田英夫	◎小松高校県民体育大会高校の部で優勝 ◎大田英夫国民体育大会出場 ・3億円事件発生
1969	昭和44年	大田英夫	◎金沢市庭球協会が県協会から分離独立し、小松市庭球協会と共に石川県庭球協会を組織 ・沢松和子が全仏・ウィンブルドンジュニアで優勝
1970	昭和45年	大田英夫	◎初心者テニススクールを開催(月曜夜7時から・日曜午後) ・福井市で全国都市対抗大会開催
1971	昭和46年	大田英夫	◎小松高校北信越高校団体優勝 ・沖縄返還
1972	昭和47年	大田英夫	◎末広テニスコートにアンツーカー(レッドクレー)コート完成 朝日生命細野・高柳選手による講習会・模範試合を行う ・札幌冬季オリンピック開催
1973	昭和48年	大田英夫	◎北陸鉄道が金沢市西泉にジャンボテニスクラブをオープン ・ベトナム戦争終結
1974	昭和49年	大田英夫	◎小松市庭球選手権大会にシングルの部開催 ・全日本ジュニアが年齢別に移行
1975	昭和50年	大田英夫	◎第1回小松市長杯庭球選手権大会開催(~1984) ◎福井市庭球協会との対抗戦始まる ・沢松和子がウィンブルドン複で、アン・キヨムラと組んで優勝
1976	昭和51年	大田英夫	◎第1回小松市庭球協会理事長杯開催(2002年荒幡外与男杯に改称~2007) ◎荒幡外与男県庭球協会副理事長に
1977	昭和52年	大田英夫	・国民栄誉賞創設、第1回目の受賞者は王貞治
1978	昭和53年	大田英夫	◎荒幡外与男小松市体育協会創立30周年功労賞 ◎小松工業高校庭球部発足 ◎小松明峰高校庭球部発足
1979	昭和54年	大田英夫	◎加賀地区高校庭球大会を開催(のちに高体連主催に) ◎県民体育大会に参加 ◎荒幡外与男石川県体育協会功労者表彰
1980	昭和55年	大田英夫	◎大田英夫小松市スポーツ功労賞 ◎木場潟テニスコートにハードコート3面完成 ・「日本庭球協会」が「日本テニス協会」に変更
1981	昭和56年	大田英夫	◎木場潟テニスコートにハードコート7面完成 ◎加南地区(のちに小松・加賀地区に改称)テニス選手権大会(ダブルス)開催 ◎カワサキミックス大会開催(~1983) ◎県民体育大会男子優勝
1982	昭和57年	大田英夫	◎小松市テニス選手権大会に女子の部開催 ◎小松市内テニス大会開催 ◎小松工業全国選抜北信越大会優勝、以後北信越大会団体7連覇
1983	昭和58年	大田英夫	◎高校1年生テニス大会を開催(のちに高体連主催から県協会主催に) ◎ヤマハミックス大会開催(~1989) ◎辰口丘陵公園テニスコート完成 ◎県民体育大会男子優勝 ・雫子牟田明子が15歳で全日本女子に最年少優勝
1984	昭和59年	荒幡外与男	◎小松市民体育大会にテニス競技が参加 ◎読売カップテニス大会開催(~1997)
1985	昭和60年	荒幡外与男	◎全国高校総体が辰口丘陵公園テニスコートで開催 ◎小松市民センターにハードコート4面完成 ◎南 隆浩全国高校総体で選手宣誓を行う
1986	昭和61年	荒幡外与男	◎20周年記念式典を行う ◎井波町テニス協会との対抗戦始まる ◎早朝テニス教室始まる(~2008)
1987	昭和62年	荒幡外与男	◎ジュニアスクールの開催(火曜・木曜夕方) ・有明コロシアム完成
1988	昭和63年	荒幡外与男	◎森金太郎石川県体育協会功労者表彰 ◎渋谷杯ジュニア大会を開催 ・沢松奈生子(高校1年生)が全日本女子優勝 ・オリンピックアジア・オセアニア予選、大阪で開催

1989	平成元年	荒幡外与男	◎県民体育大会男子優勝 ・谷沢英彦が17歳で全日本男子に最年少優勝
1990	平成2年	荒幡外与男	◎高校生ダブルス大会を開催(のちに高体連主催に)
1991	平成3年	荒幡外与男	◎石川国体が辰口丘陵公園テニスコートで開催
1992	平成4年	荒幡外与男	◎小松ジュニアテニスクラブ創設される ◎県民体育大会男子優勝 ◎加南地区(のちに小松・加賀地区に改称)テニス選手権大会(シングルス)開催 ・松岡修造が日本人男子初のツアー優勝
1993	平成5年	荒幡外与男	◎荒幡外与男日本テニス協会功労者表彰
1994	平成6年	荒幡外与男	・フェデレーションカップで日本女子初のベスト8進出
1995	平成7年	荒幡外与男	◎ゴーセンミックス大会開催(~2007) ◎市民テニス大会開催 ・阪神淡路大震災 ・伊達公子が全仏でベスト4進出、世界ランク4位に ・松岡修造がウインブルドンでベスト8進出 ・沢松奈生子が全豪でベスト8進出
1996	平成8年	荒幡外与男	◎木場潟テニスコート人工芝コート4面完成 ◎県民体育大会男子優勝 ・伊達公子がウインブルドンベスト4進出
1997	平成9年	荒幡外与男	◎30周年記念式典を行う ◎第1回大田英夫杯開催 ◎こまつドーム完成
1998	平成10年	森 金太郎	◎全国ベテラン団体テニス大会を開催(~2008) ◎県民体育大会男子優勝
1999	平成11年	森 金太郎	・杉山愛全米MIXでプサン(インド)と組んで優勝
2000	平成12年	森 金太郎	・杉山愛が全米ダブルス優勝・ウインブルドンダブルス準優勝
2001	平成13年	森 金太郎	◎末広テニスコート人工芝コート8面完成 ◎県民体育大会男子優勝
2002	平成14年	森 金太郎	◎B級テニス大会開催 ◎理事長杯を荒幡外与男杯に改称 ◎河原直江小松市体育協会功労者表彰
2003	平成15年	森 金太郎	◎県民体育大会女子優勝 ・杉山愛全仏・ウインブルドンダブルス優勝
2004	平成16年	森 金太郎	◎沢野唯志石川県体育協会功労者表彰 デビスカップ、世界グループ・プレーオフに進出
2005	平成17年	森 金太郎	◎マナーキッズテニス大会を開催 ◎北信越オープンU12U14ジュニア大会を開催 ◎県民体育大会壮年の部に参加 ◎河原正美石川県体育協会功労者表彰
2006	平成18年	森 金太郎	◎40周年記念式典を行う ・車いすテニス、国枝慎吾シングルスランク世界1位に
2007	平成19年	森 金太郎	・車いすテニス、国枝慎吾年間グランドスラム達成 ・錦織圭ツアー優勝
2008	平成20年	河原正美	◎小松市室内ミックス大会開催 ◎長根尾直輝教育長表敬訪問 ◎森金太郎小松市体育協会創立60周年感謝状 ◎河原正美小松市体育協会創立60周年功労者表彰 ◎沢野唯志小松市体育協会創立60周年優秀指導者賞表彰 ◎前川 武石川県体育協会功労者表彰
2009	平成21年	河原正美	◎山佐輝・長根尾直輝教育長表敬訪問 ・杉山愛4大会連続出場記録がギネスに認定
2010	平成22年	河原正美	◎山佐輝教育長表敬訪問 ・全国高校総体第100回記念大会
2011	平成23年	河原正美	◎東日本大震災義援金として50万円を寄付 ◎山佐輝小松市長表敬訪問(ワールドジュニア日本代表) ・東日本大震災
2012	平成24年	河原正美	◎県民体育大会壮年男子優勝 ・ノーベル生理学・医学賞に山中教授

2013	平成25年	沢野唯志	<ul style="list-style-type: none"> ◎市民テニス大会にプロレッスンを行う ◎北信越オープンU16U18ジュニア大会を開催 ◎小松市ジュニアテニス教室開設 ◎規約改正を行い、シニアとジュニアが協会登録される。
2014	平成26年	沢野唯志	<ul style="list-style-type: none"> ◎生涯スポーツ優良団体として文部科学大臣表彰 ◎文部科学大臣表彰報告・全国大会出場報告小松市長表敬訪問 ◎山佐輝小松市長表敬訪問(全国高校総体団体・ダブルス優勝) ◎都市対抗県代表として北信越大会へ出場 ◎松下雅一小松市体育協会功労者表彰
2015	平成27年	沢野唯志	<ul style="list-style-type: none"> ◎S・フォーティーンコート(末広テニスコート)リニューアルオープン ◎大田英夫杯優勝杯を大田家より寄贈していただく ◎小松市テニス教室(初心者・初級者、水曜夜7時より)開催 ◎都市対抗県代表として北信越大会へ出場 ◎木場潟研修センターテニスコートハードコート3面を改修(デコターフ) ◎須田美子小松市体育協会功労者表彰
2016	平成28年	沢野唯志	<ul style="list-style-type: none"> ◎都市対抗県代表として北信越大会へ出場 ◎JOP大会「石川オープン」を小松市S・フォーティーンコートで開催 ◎古いボールを小学校に寄付する運動を始める ◎小松市テニス協会登録者が310名に
2017	平成29年	沢野唯志	<ul style="list-style-type: none"> ◎50周年記念「全国ベテラン大会」を開催 ◎JOP大会「石川オープン」を小松市S・フォーティーンコートで開催 ◎50周年記念式典を行う

参考資料: 小松市体育協会30周年記念誌「体協抄史」
小松市体育協会40周年記念誌「体協抄史」
小松市体育協会50周年記念誌「体協抄史」
小松市体育協会60周年記念誌「体協抄史」
小松市テニス協会創立20周年記念誌「白球呼友」
小松市テニス協会創立30周年記念誌「白球呼友」
小松市テニス協会創立40周年記念誌「白球呼友」
石川県テニス協会50年史
石川県高体連テニス部のあゆみ
全国高体連テニス部「高校テニス100年史」